

都城市役所 本庁舎



外観

西館、東館とに分かれる本庁舎。今回はそれぞれ、2Fのトイレ改修を実施。改修前はともに男女トイレを設置していたが、今回の改修では、スペースを重視し、西館は女性トイレ専用、東館は男性トイレ専用となった。



女性トイレ 入口

だれもがトイレの場所を認識できるよう、目を引く大きなピクトサインと識別しやすい色で、入口を表示。ベビーチェアやベビーシート、幼児用小便器などの設置を入口で確認することができる。



女性トイレ 全体

白を基調とした明るい空間。アクセントに木目を使用することにより、温かみのある癒し空間を演出。職員も利用しており、仕事間際にリラックスして気分転換できる空間となっている。



女性トイレ 洗面コーナー

バリアフリーというコンセプトのもと、大人だけでなく、小さなお子様も使用できるように、高さ違い（H=800mm、H=550mm）の洗面カウンターを、1ヶ所設置している。



女性トイレ 大便器コーナー

各ブースの扉には、ブース内の設備や配慮がわかるように、ピクトサインを掲示している。



女性トイレ 大便器ブース

すべてのブースにパブリック用手すりを設置。お子様連れ配慮として6ブースあるうちの2ヶ所にベビーチェアを設置。ボタンを押すたびに発電し、環境に優しく電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモコンを設置。



女性トイレ ひろびろブース

女性トイレには、6ブースあるうち2ヶ所に、設備を変えた「ひろびろブース」を設置している。



女性トイレ ひろびろブース①

「ひろびろブース①」には、ベビーシートとベビーチェアを設置。多機能トイレとは別に、お子様連れ配慮を女性トイレに配慮することで、機能分散を実現している。



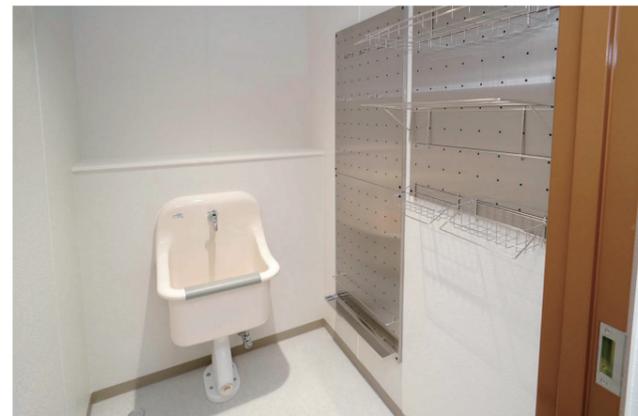
女性トイレ ひろびろブース②

「ひろびろブース②」には、用足しの姿勢を保ちやすいグリップ付きの幼児用小便器を設置。足元のハイドロセラフロアキッズは、自然に正しい立位置に誘導する、かわいい動物のフットマークをあしらっている。



掃除用具入れ 入口

バックヤードとなる掃除用具のためのスペースも、全体を白を基調として、使いやすさとともに清潔感ある空間とした。



掃除用具入れ

今回の改修により、湿式清掃から乾式清掃に変更され、使用する掃除用具が変わった。用具の整理整頓がしやすいよう、掃除用流しセットアクセサリを設置。モップやほうきなども、壁掛けて整然とした収納が可能。



男性・多機能トイレ 入口

大きなピクトサインと識別しやすい色で、男性・多機能トイレの場所が認識できる。改修以前の多機能トイレでは、ドアのボタンが硬く押しにくいとの声があったため、軽い力で押せるものに変更している。

# 都城市役所 本庁舎



男性トイレ 全体

女性トイレ同様、白を基調とした内装で、木目をアクセントとして使用し、温かみのある癒し空間を演出している。



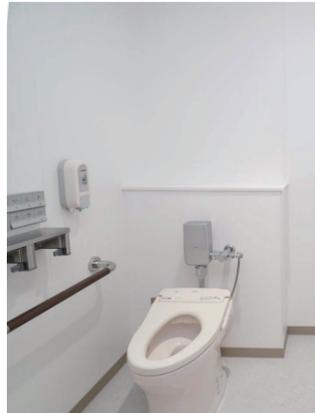
男性トイレ 小便器コーナー

シンプルなデザインと清掃性のよい壁掛自動洗浄小便器を採用。掃除口が設置され、通常は乾式清掃であるが、高圧洗浄などを実施する際のメンテナンス性にも配慮している。



男性トイレ 大便器ブース

お子様連れ配慮として、男性トイレにもベビーチェアを設置。ボタンを押すたびに発電し、環境に優しく電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモンを設置している。



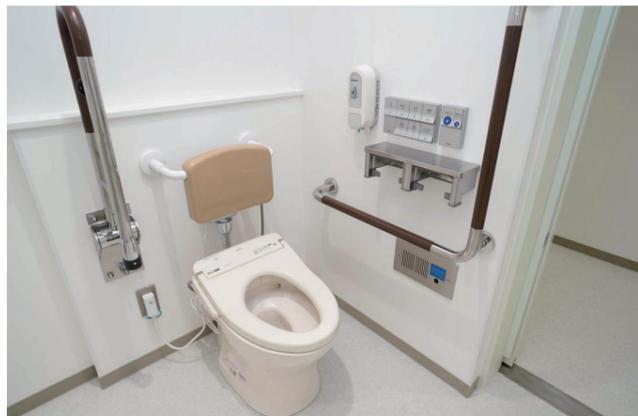
男性トイレ ひろびろブース

男性職員の声をもとに、お子様連れ配慮として、「ひろびろブース」にベビーシートとベビーチェアを設置している。



多機能トイレ

実際に車いすを使用される職員の意見をもとに多機能トイレを計画。小さなお子様のおむつ替えや衣服の着脱などに対応できる多目的シートを設置している。



多機能トイレ

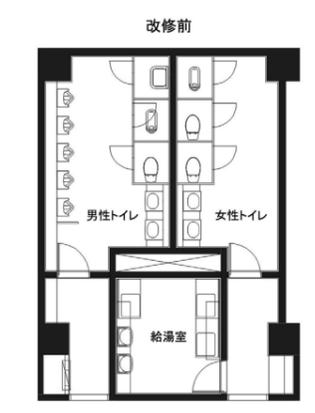
取り付けである器具がどのように設置されているかが、視覚障がい者の方にもわかりやすいように、音声ガイダンスを設置している。



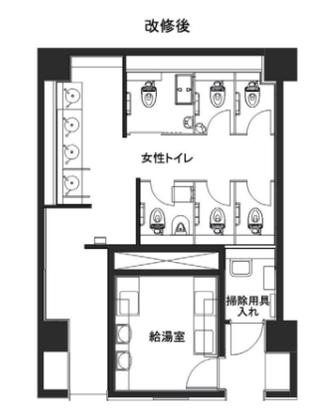
改修前



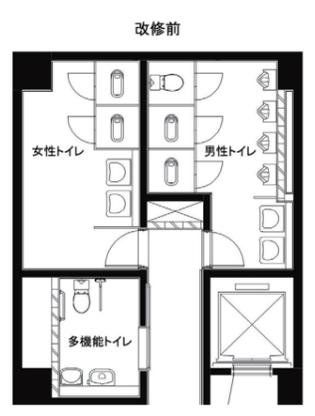
改修前は、築35年を経過。トイレは、器具だけではなく、空間全体の老朽化がみられた。



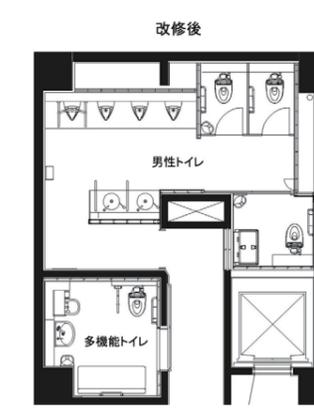
西館1・2Fトイレ図面



改修前、男性トイレ・女性トイレと分かれていた西館トイレ。ブース数を増やすため、同一スペースを、女性トイレに改修した。



東館1・2Fトイレ図面



東館トイレも、改修前は男性トイレ・女性トイレ・多機能トイレと分かれていたが、こちらは男性トイレ・多機能トイレに改修された。

## 水まわりの特長

### 改修の経緯

宮崎県の南西端に位置し、宮崎と鹿児島の間地点にあたる主要都市である都城市では、市役所庁舎が、築35年を経過。老朽化もあり「明るく」「きれい」「バリアフリー」の3つのコンセプトのもと、来庁者に「おもてなし」を感じてもらえるように庁舎を改修。あわせて、東館・西館1・2Fトイレの改修が実施された。庁舎は来庁者が手続き場所がわかりやすいように、色分けを実施。椅子は、肘掛つきのものから、杖を持たれた方でも使いやすいように肘掛けなしのものに変更するなど、誰でも使いやすい「バリアフリー」を意識。トイレ改修においても、明るい空間に、利用のしやすさを考慮し、女性トイレ・男性トイレを集約するなど改修コンセプトが生かされている。

### トイレの特長

トイレの改修に際しては、市役所内でワークショップを開催し、多くの意見を収集。年代も異なる人で構成し、トイレに関しての意見を幅広く集めることを工夫した。多機能トイレに関しては、実際に車いすを使用する職員が使いやすいように、細やかな部分まで調整を実施。また、職員の声から男性トイレにお子様連れ配慮として、各ブースにはベビーチェア、ひろびろブースにはベビーシートを設置するなど、ワークショップや現場の声を反映した改修となった。またBCP対応として、電気関係も今回の改修時に非常用電源につなぐ工事が実施されている。

## 建築概要

名称	都城市役所 本庁舎
所在地	宮崎県都城市姫城町6-21
施主	都城市
設計	有限会社 盛満コンサル
施工	丸宮建設株式会社
竣工年月	(改修)2020年2月
敷地面積	9,489.09㎡
建築面積	3,374.62㎡
延床面積	18,875.06㎡
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下2階、地上8階

### おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CFS494MCRNA
- ウォシュレットアップリコットP(擬音装置「音姫」付エコリモン):TCF5830ADYR
- 棚付二連紙巻器:YH701
- 自動洗浄小便器:UFS900JCS
- マーブライトカウンター(ポウル一体タイプ):MC50系
- 台付自動水栓:TENA12A
- コンパクトオストメイトパック:UAS81LDB2NW
- 収納式多目的シート:EWC520ARR
- 背もたれ:EWC283CR
- 幼児用小便器:U310GY
- ベビーチェア:YKA15R、YKA16R
- ベビーシート:YKA25R
- LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80017
- パブリック用すり:T114CL10、T114CU22
- パブリック用流し:SK22A
- 掃除用流しセットアクセサリ:UTR421S、UTR422S